

お仲間の近況報告

編集部

会員及び千里山の思い出を共有するお仲間の近況報告です。

「当時の千里山」と言っても年代に応じた千里山像があるわけですが、まあ下の噴水から大人の足で東西南北どちらに向かって歩いてても、5〜6分で人家が途絶え、その先に広がるのは、低い小山か田園風景。

子供の数もたいてい4〜5人で、大概の家が上の子か、下の子の間で繋がりが、知合いと言う何とも言えない微笑ましい間柄だったように思います。

だからこそ、この異郷の地 首都圏で「千里山会」が存在し続けるのですね。

少しでも多くの方の近況を、ご自身から、周りから発信して下さい。

お待ちしております。

24回生 河合（五十嵐）和子さんの

出演予定マンドリン演奏会

ラス・マンドリーナス 第37回定期演奏会
2016年10月23日（日） 開場…13時20分

開演…14時00分

所沢市民文化センター・ミューズ・マッキーホール
（埼玉県所沢市並木1-9-1）

西武新宿線「航空公園」駅東口より徒歩10分

プログラム

フォスター・メドレー

ルージュの伝言

津軽のふるさと

序曲「バグダッドの太守」

大幻想曲「邪馬台」他

★指揮…青山 忠

入場無料

「関西からの報告」

二七回生 林 裕 三

一、ハワイに高知城を建てたサムライ牧師

奥村多喜衛生誕百五十年記念展見学

本会 会員でハワイ在住の松村信男氏（千二小 一六回生）が所属されるハワイのマキキ聖城キリスト教会、創立者 奥村多喜衛の生誕百五十年記念展が、同志社大で開催され 信男氏の弟さん時男氏（一九回生）を中心とする千里山キリスト教会の人たちと一月三十日に訪問した。

高知の人、奥村多喜衛は幕末に生まれ 大阪教会の牧師であった同志社英学校一期生の宮川経輝から受洗し、同志社神学校に明治二四年入学。 たまたま ハワイから一時帰国中の岡部次郎牧師の講演が同志社であ



竣工当時のマキキ聖城キリスト教会

当日は奥村多喜衛協会の会長である高知大学の中川英佐先生が講演され、皆で聴講した。 講話内容の主旨は次のとおりであった。

多喜衛はキリスト伝道だけでなく、日本人移民の地位向上、環境改善に取り組んだ。例えば移民の子供たちがきちつとした日本語を話さなかったたので、教育のため奥村ホームを設立したり、ペストの撲滅のため家

り、講話に刺激を受けた多喜衛は明治二七年の卒業直後ハワイに渡る。ハワイで伝道と日系移民環境改善に取り組み昭和七年に高知城天守閣を模したマキキ聖城教会を完成させた。（写真参照）

この記念展示会は

昨年十二月初めから今年二月十日迄同志社ギャラリーで展示、

屋の焼き払いから大火となり、多くの日本人罹災者の救済のため日本人慈善病院設立に奔走した。また日本人排斥運動を懸念した多喜衛は、日本人の生活向上とハワイ社会全体との融和を図るため「排日予防啓発運動」を始めた。この運動は「売国奴」と罵倒されながらも「ハワイやアメリカ社会を支えるアメリカ人たれ」と推し進め、しかも第二次世界大戦直後、八十歳になつてでも日米両国の融和のためラジオ放送までした。

前述したとおり、マキキ聖城キリスト教会には千里山キリスト教会で戦後活躍された松村信男氏がおられ同志社大卒業生でもある時男氏が 奥村多喜衛協会と同志社社史資料センターの間を取り持ちながら 今回の展示等のお手伝いをされた。

二、テレマン室内オーケストラ 三重県津にて開催！

日本テレマン協会については本誌十六号にも詳しく記載されているが、伊勢地区にて公演することは少ない。今年三月十三日「武春ちゃんが津にやってくる」と言うので家内と駆けつけた。

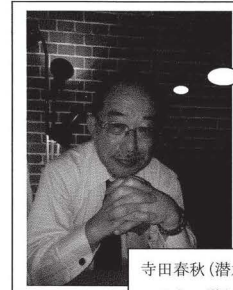


指揮者 延原武春氏(右)と林夫婦

津リージョンプラザお城ホールでヴィヴァルディ「四季」全曲 他バロックの数曲を指揮者 延原武春氏（二七回生）の独特の大阪弁の楽しい説明とともに聴かせて頂き、時間があつという間に過ぎた。演奏会後 指揮者とチェンバロ演奏者でもあり、協会の後継者と期待される 高田泰治氏と懇談した。

竹馬の友・半世紀ぶりの再会

2016/3/28 秋葉原



寺田春秋 (潜水艦プロジェクト 潜行中)

お国の為にもう一仕事。
深く静かに潜行するか。
「眼下の敵」がヒットした
のは半世紀前のことか

昔から他人と違う発想をしていた
ねー。校庭の水道が破水した時に穴
を塞ぐのではなく沢山の蛇口をひ
ねって水圧を下げるなんて小学生
でなかなか思いつかないよ。

ちょっとした体験
と勘かなー。

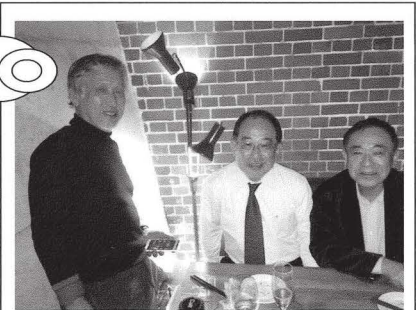


赤井恭平 (思い出発掘 仕掛け人)

「ミニ千里山愛好会」

古き良き時代だった。
時は1960年、給水塔の下で安保反対のデモの
「全学連ごっこ」。そして1970年、大阪万博
の会場となって千里丘陵は大きく変化。時代の
渦に巻き込まれながらも変わらず変ってきた
千里山だが童心時代のまんまの連中が多い。
千里山という土地柄の持つ包容力の賜物
か、母なる大地・「千里山」 万歳！

神原健二 (昭和・平成の
旅人 みちのく放浪中)



<ツイッター風感想記> 阪急電鉄千里山線の突き当たりの狭い空間を綱張りとしていた者たちが
羽ばたき散って行ったのは半世紀前。同時期・同時間の原体験は脳裏にはしっかりと焼き付いて
おり、この年齢になれば時空を超えて走馬灯の如く鮮明に蘇ってくるのがよくある。時として悪
者扱いにされがちな団塊の世代のまだまだ残している底力を活かす場を持ち続けたいものだ。未来
を見つめつつ過去を振り返り現在を過ごすことが出来たタイムカプセルの3時間に感謝したい。

『本を出し』『資格』をとって・・・

27回生の萩原 直大

今の私の生活における2本柱は、この会誌を造ることと30年近く続いている雑文書きの他に地元福祉・介護系NPOと自治会を通じてのボランティア活動です。

4年前、私が暮らす松戸市主催の「エッセイを楽しむしよう」に参加し、その後も男女各5名の有志で会を継続。月に1度、各自の作品を持ち寄り発表しています。そしてこの春、貯まった作品の中から各自10点ほど選び、本を出しました。

下段 右…その表紙 左…目次の一部 私の分

次頁は、今年の4月から3か月、週2回、終日の講義に愛妻弁当持参で参加。実技試験、筆記試験を受け、合格。旧名 ヘルパー2級です。

同級生は男6名・内 5名が70歳代

女6名…75歳を筆頭に残りは60歳代
介護をする側か、される側か???

九学出版

体験したこと・感じたこと
わいわい・がやがや・皆で綴った

エッセイ集

第一巻

綴り方・教室

級長 土屋 克郎

第三章 毎日が日曜日になって

萩原 直大

211

第四章 私のヘソは曲がっているか?

萩原 直大

221

第五章 女と男

萩原 直大

235



松戸・エッセイの会

- ① ボランティアとエッセイの会に行き着く
- ② 草取り物語
- ③ 消防署が火事だ!
- ④ 前向きに生きよ
- ⑤ 「善悪」とは? 「正邪」とは?
- ⑥ 人は何のために生まれたか
- ⑦ 「女と男」を書くに当たって
- ⑧ 男は空を飛び、女は大地に立つ
- ⑨ 男と女の本質的違い
- ⑩ 地図の読めない女、人の話を聞けない男
- ⑪ 男らしい女に女々しい男

第 16-千信-01-001 号

修了証明書

萩原 直大

昭和 18 年 7 月 17 日生

介護保険法施行令（平成 10 年政令第 412 号）第 3 条第 1 項第 2 号に掲げる研修の介護職員初任者研修課程を修了したことを証明する。

平成 28 年 6 月 23 日

公益社団法人 長寿社会文化協会
会 長 京極 高宣

介護の講義で、新しく覚えて言葉

脱健着患：体の片側が麻痺している方のパジャマを脱がせる時は、健ダッケンチャッカン 常側から脱がす。着る時は麻痺側から着せる。

廃用症候群：体の機能は使わないと低下し、悪循環を繰り返す。

ジョハリの窓：心の 4 つの側面。介護で最も重要なのは、介護者と利用者のコミュニケーション。そこで知るべきは、「他人が気付いているのに、自分は気付いていない自分の側面」。